

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文の掲載は控えております。

問一 Ⅱ線部(ア)～(ウ)のカタカナを漢字に直しなさい。

問二 Ⅰ線部①「容易ではない漁法」の説明として、最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 舟から離れたところに蓍を流し、時々海にもぐってさんまを確認して素手でつかむという漁法。
- イ 海に蓍を敷きつめ、海辺の焚き火を明かりにしながらさんまを探して素手でつかむという漁法。
- ウ 海面に蓍を流し、蓍の下にさんまが集まったらその蓍をたぐり寄せて素手でつかむという漁法。
- エ 舟と舟の間に蓍を流し、他の漁師と協力しながらさんまを追いつめて素手でつかむという漁法。

問三 Ⅰ線部a「すでに」の品詞名として、最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 接続詞
- イ 副詞
- ウ 連体詞
- エ 形容動詞

問四 Ⅰ線部②「伊作は頭を激しく振って立ち上がると、無言で家の外に出た」とありますが、この時の伊作の心情を説明したもので、最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 自分のことを少し見下している太吉に対する怒りと、さんまを差し出してくれた太吉の思いやりに対する感謝の思いが混在している。

イ 太吉のやさしさに言葉が出ないほど感謝しているが、のどから手が出るほどほしいさんまを持って帰れないことを悔しく思っている。

ウ 自分だけがさんまをとることができない状況を嘆きつつも、次の漁こそは太吉が教えてくれた漁法で魚をとろうと決心している。

エ 自分ひとりさんまを食べるわけにはいかないと思い、妹や弟にさんまを食べさせることができない自分に腹立たしさを感じている。

問五 ―線部③「体が熱くなった」とありますが、この時の伊作の心情を五十字以内で説明しなさい。

問六 ―線部A「母は漁については…食べさせていた」、B「母が頭の部分を…弟妹に分けた」には、それぞれどのような母親の姿が描かれていますか。「Aは…に対して、Bは…が描かれている。」という形で説明しなさい。

問七 この文章の特徴について説明したものとして、最も適当なものを、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア 伊作と太吉の会話の中では、方言を多用することによって太吉のぶっきらぼうな性格と伊作の控えめな性格が対比されている。

イ 弟や妹がさんまを食べる場面では、さんまが焼けるのを待ち遠しく思っている様子が、擬人法を用いて表現されている。

ウ 伊作がさんま漁に成功する様子を描いた部分では、短い文を連続させ、文末を現在形することによって読者に臨場感を与えている。

エ 「時化」「魚影」などの漁に関連する専門用語を登場させることによって、伊作の村で行われている漁の特殊性が強調されている。

問八 次の会話は、この文章についてクラスの中で意見交換した時の会話です。それぞれの会話を読み、本文の内容と合致しない会話を一つ取り上げ、①誰の、②どのような発言が、③本文のどのような点と合致しないのか、説明しなさい。

ゆうた

『伊作が、弟や妹のためにさんまをとろうとがんばっている姿は立派だと思うな。』

だいき

『僕もそう思うよ。家族の食べるものを確保するというのは、働く目的の一つと言えるだろうね。』

かずや

『伊作は、家族を自分を守るんだっていう責任を一人で背負っていたように感じるな。』

あきと

『だから何度失敗しても、誰にも頼らずさんまの漁法を一人で考えていたのかもしれないね。』

こうじ

『一人といえど、舟には伊作一人しか乗っていなかったみたいだね。』

ゆうた

『一人で舟をこぐだけでもたいへんなのに、さんまを素手でつかむなんて想像できないよ。』

だいき

『しかも漁は夜明け前にやっていたみたいだね。薄暗い中、一人で海にいるなんてぼくには耐えられないよ。』

かずや

『海辺では、漁に出ている人の家族や村の人たちが、火を焚いて待っていたんだろうね。』

□ 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

本文の掲載は控えております。

問一 Ⅱ線部(ア)、(エ)のカタカナは漢字に直し、(イ)、(ウ)の漢字はひらがなで読みを答えなさい。

問二 Ⅰ線部①について、スローリーダーの出現が「現代の必然」であるのはなぜか。その理由を文章中の言葉を使って、七十五字以内で説明しなさい。

問三 Ⅰ線部②について、なぜこのように言えるのか。その理由を示している一文の最初の五文字を答えなさい。

問四 Ⅰ線部③について、筆者は速読をこのようにとらえているが、これと同じとらえ方で、読書としての速読を表現している別の部分を、ここより前の文章中から十字以内で抜き出しなさい。

問五 本文中の **A**、**B** に当てはまる言葉を次の中からそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア 規則的 イ 独善的 ウ 直接的 エ 画的 オ 仮想的

問六 筆者は、「スローリーディング」という読み方は、どのような価値を持っていると述べているか。本文の前半、後半にある表現を用いて、八十字以内で答えなさい。

三 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

今は昔、^{※1}甲斐国に館の侍なりける者の、夕暮に館を出でて、家さまに行ける道に、狐の^①逢ひたりけるを追ひ懸けて、^②引目して射ければ、狐の腰に射当ててけり。狐、射転ばかされて、^{※2}鳴き侘びて、腰を引きつつ草に入りけり。この男、引目を取りて行くほどに、この狐、腰を引きて先に立ちて行くに、また射んとすれば^③失せにけり。

家、今^{※3}四五町かとして、見えて行くほどに、^④この狐二町ばかり先立ちて、火を^{※4}銜えて走りければ、「火を銜えて走るはいかなる事ぞ」とて、馬をも走らせけれども、家の^{※5}許に走り寄りて、人になりて、火を放けてけり。「人の^⑤つくるにこそありけれ」とて、矢を^{※6}矧げて走らせけれども、つけ果てければ、狐になりて、草の中に走り入りて失せにけり。さて家焼けにけり。^⑥かかる物も忽ちに讐を報ふなり。これを聞きてかやうの物をば構へて打つまじきなり。

(「宇治拾遺物語」)

※1 甲斐国：今の山梨県あたり ※2 鳴き侘びて：鳴きながら ※3 四五町：一町は約一〇九メートル

※4 銜えて：口にくわえること ※5 許：近く

※6 矧ぐ：矢をはぐ

問一 — 線部①「逢ひたりけるを追ひ懸けて」を現代仮名遣いに直し、すべてひらがなで答えなさい。

問二 — 線部②「引目して射ければ」とありますが、動作をしたもの（主語）を答えなさい。

問三 — 線部③「失せにけり。」の意味を、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア いなくなってしまった。 イ 死んでしまった。

ウ 悲しくなってしまった。 エ なくしてしまった。

問四 —線部④ 「この狐二町ばかり先立ちて、火を銜えて走りければ、」について、この後に狐がとつた行動を簡潔に答えなさい。

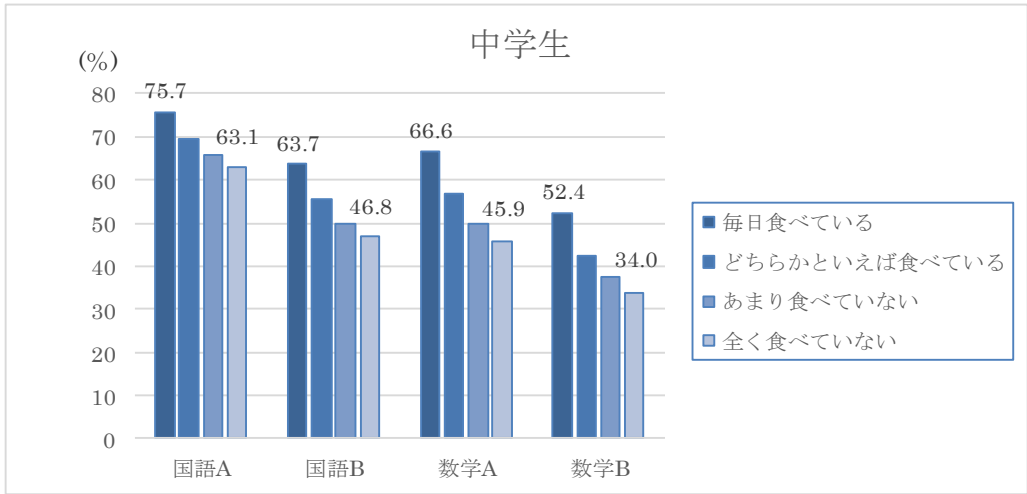
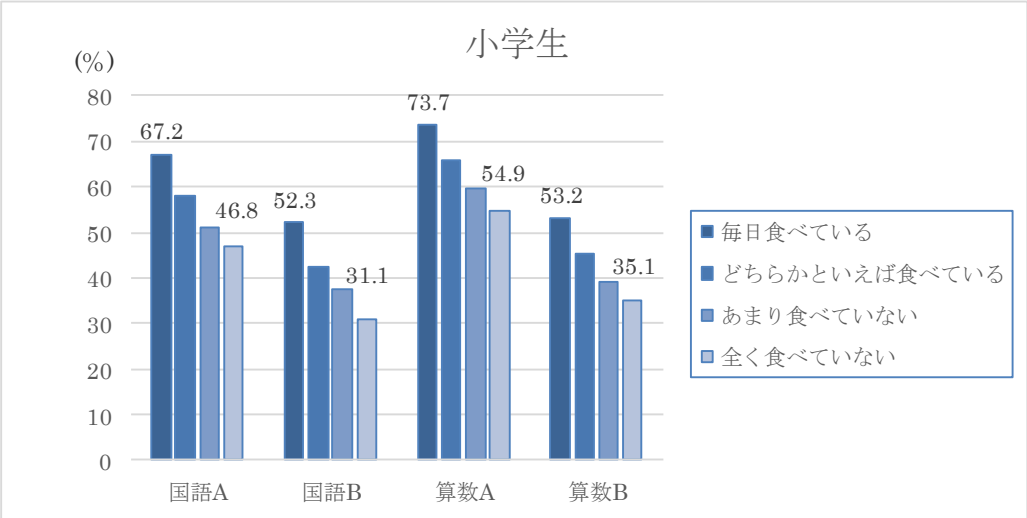
問五 —線部⑤ 「つくる」の意味を、次の中から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 家をつくる イ 晩御飯をつくる ウ あとをつける エ 火をつける

問六 —線部⑥ 「かかる物く打つまじきなり。」について、

- (1) 「かかる物」が指す言葉を、本文中の言葉で答えなさい。
(2) この表現から、筆者がさとつたことを、簡潔に答えなさい。

朝食の摂取と学力調査の平均正答率との関係



文部科学省:平成20年度全国学力・学習状況調査(A:基礎問題、B:応用問題)

調査対象:小学校6年生約116万人、中学校3年生約108万人

問一 このグラフから読み取れることを、六十字以内で答えなさい。

問二 読み取ったことをもとに、あなたが考える、よりよい中学生の生活習慣を、八十字以内で答えなさい。

(注意) 1 原稿用紙の正しい使い方に従い、指定の字数で書くこと。

2 句読点、カッコなどは、それぞれ一字分あてること。

※ 下書き用

問一			

問二			